

天皇盃 第20回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 記者発表資料
エントリー状況とレース展望 (広島陸上競技協会まとめ)

①エントリー状況

社会人、大学生

エントリー141人中、「全日本実業団駅伝」出場者が54人(昨年51人)、「箱根駅伝」出場者が45人(昨年55人)。

- 1) 今年度の10,000m日本人ランキング1位**鎧坂哲哉**(広島・旭化成)、2位**佐藤悠基**(静岡・日食品清グループ)、3位**村山謙太**(宮城・駒澤大)、5位**設楽啓太**(東京・コニカミノルタ)、6位**設楽悠太**(埼玉・ホンダ)らがエントリー。
- 2) 社会人は、「実業団駅伝」区間賞獲得者のうち、3区**鎧坂**、4区**設楽悠**、5区**大石港与**(愛知・トヨタ自動車)、6区**田中秀幸**(愛知・トヨタ自動車)がエントリー。
その他有力ランナーは、**菊地賢人**(北海道・コニカミノルタ)、**宇賀地強**(栃木・コニカミノルタ)、**服部翔大**(埼玉・Honda)、**柏原竜二**(千葉・富士通)、**梶原有高**(神奈川・プレス工業)、**矢野圭吾**(長野・日清食品グループ)、**佐藤悠基**(静岡・日清食品グループ)、**宮脇千博**(岐阜・トヨタ自動車)、**松村康平**(大阪・三菱重工長崎)、**北村聡**(兵庫・日清食品グループ)、**竹澤健介**(兵庫・住友電工)、**大津頭杜**(熊本・トヨタ自動車九州)ら。
- 3) 大学生は、「箱根駅伝」総合優勝の青山学院大から、箱根出場者では1区2位の**久保田和真**(熊本)、4区区間賞の**田村和希**(山口)、5区山登り区間賞の**神野大地**(愛知)、7区区間賞の**小椋裕介**(北海道)、9区区間賞の**藤川拓也**(広島)の5人がエントリー。
その他有力ランナーは、箱根3区区間賞の**中谷圭佑**(兵庫・駒澤大)、村山兄弟の弟の**村山紘太**(宮城・城西大)、**横手健**(栃木・明治大)、服部兄弟の弟の**服部弾馬**(新潟・東洋大)、**西山雄介**(三重・駒澤大)、**川端千都**(京都・東海大)、**馬場翔大**(岡山・駒澤大)、**井上大仁**(長崎・山梨学院大)、**田口雅也**(宮崎・東洋大)、**大六野秀敏**(鹿児島・明治大)、市田兄弟の兄の**市田孝**(鹿児島・大東文化大)、**有村優樹**(鹿児島・明治大)ら。
- 4) 地元広島の「ふるさと競技者」は、中国電力から**米澤類**(福井)、**山崎亮平**(鳥取)、**石川卓哉**(山口)、**出岐雄大**(長崎)、マツダから**圓井彰彦**(福島)、**山本憲二**(石川)、中電工から**松尾修治**(島根)、**小山大介**(岡山)がエントリー。

高校生

エントリー188人中、125人が「全国高校駅伝」出場。そのうち1区出場者が44人。
今年度5,000mで14分を切った8人のうち6人がエントリー(羽生:千葉・八千代松陰 13'52"98、長谷川:愛知・豊川 13'59"03が欠場)。

高校駅伝 1 区区間賞の下史典（三重・伊賀白鳳 3 年）、3 区日本人トップの今西駿介（宮崎・小林 2 年）、4 区区間賞の中島大就（広島・世羅 2 年）、6 区区間賞の井上広之（広島・世羅 2 年）、7 区区間賞の中島公平（茨城・水城 3 年）がエントリー。

その他有力ランナーは、5,000m13 分台の湊谷春紀（秋田工 3 年）、坂口裕之（長崎・諫早 3 年）、梶谷瑠哉（栃木・白鷗大足利 3 年）、富田浩之（千葉・八千代松陰 3 年）、鬼塚翔太（福岡・大牟田 2 年）、遠藤日向（福島・学法石川 1 年）ら。

中学生

エントリー141 人中、27 人が「全国中学校駅伝」出場。駅伝の全国大会初出場者が多い。全中駅伝区間賞獲得者のうち、1 区名合治紀（岡山・吉備 3 年）、2 区小野知大（大分・坂ノ市 3 年）、3 区大谷陽（栃木・三島 3 年）、5 区坂元祐喜（兵庫・加古川山手 3 年）がエントリー。

その他有力ランナーは、3,000m8 分 30 秒台の橋本龍（埼玉・毛呂山川角 3 年）、蝦夷森章太（愛知・古知野 3 年）、松島彰吾（静岡・北浜 3 年）、向井悠介（香川・小豆島 3 年）、佐藤慎巴（岩手・北上 3 年）、中尾大樹（兵庫・宝殿 3 年）、高木航志（長野・上田五 3 年）、田中康靖（宮崎・飫肥 3 年）ら。

② レース展望

1 区

5 k mまでは 30 人近い選手が 1km3 分を切るタイムで併走。そこから高校駅伝 1 区の上位選手が集団を引っ張る。

湊谷（秋田）、關（長野）、下（三重）、橋詰（和歌山）、坂口（長崎）に新迫（広島）が絡む。前回 1 区 2 位の廣末（宮崎）、同 4 位の車田（福島）の走りにも注目。

上位争い : 秋田、栃木、群馬、埼玉、長野、愛知、三重、和歌山、広島、福岡、長崎
続いて : 福島、石川、滋賀、山口、佐賀、宮崎

2 区

3,000m 持ちタイムトップが 8'36"64、20 位でも 8'42"68 と例年より差がない(約 60m)。

大谷（栃木）に、橋本（埼玉）、小野（大分）をはじめ、1 区の流れ次第で区間賞争いは激戦に。

上位争い : 栃木、群馬、埼玉、長野、愛知、三重、滋賀、広島、福岡
続いて : 千葉、静岡、兵庫、山口、長崎、宮崎

3 区

設楽悠（埼玉）がトップに。菊地（北海道）、村山紘（宮城）、大石（愛知）、中谷（兵庫）、久保田（熊本）、服部（新潟）らが順位を上げる。15 位までが 1 分以内の混戦に。

上位争い : 栃木、群馬、埼玉、愛知、広島、山口、長崎、大分
続いて : 北海道、宮城、神奈川、長野、三重、滋賀、兵庫

4 区

富田（千葉）、遠藤（福島）の区間賞争いに、長沼（長野）、吉田（広島）がどれくらい迫れるかが注目。

上位争い : 栃木、群馬、埼玉、愛知、広島、長崎

続いて : 北海道、千葉、長野、三重、山口、熊本

5区

三浦（宮城）、中島（広島）に小山（埼玉）、難波（千葉）らの区間賞争い。

上位争い : 栃木、群馬、埼玉、千葉、愛知、広島

続いて : 宮城、長野、三重、山口、長崎、熊本

6区

区間賞争いは伊藤（愛知）、坂元（兵庫）が中心。池田（静岡）、方根（茨城）など、3,000mの持ちタイムが8'40秒台の選手がレース展開によってどう走るのが見所。

上位争い : 栃木、群馬、埼玉、千葉、愛知、広島

続いて : 宮城、長野、三重、山口、長崎、熊本

7区

鎧坂（広島）が快走しトップに立つ。宇賀地（栃木）、小野（群馬）、服部（埼玉）、柏原（千葉）、神野（愛知）はどこまで逃げられるか。村山謙（宮城）が3位を目指して激走。佐藤（静岡）は入賞圏内に。入賞争いは前回同様ラストのスパート勝負で決まるだろう。小椋の走りで北海道は初めての入賞に届くか。

優勝：広島、2位埼玉、3位群馬、4位宮城

5位以降は静岡、愛知、栃木、千葉、長野、北海道、兵庫、東京、熊本、三重

③広島県チーム

今年は20回記念大会と広島市が被爆70年の区切りの年なので優勝を狙っている。1・2区の出足が鍵。高校生は広島が1枚上手で、優勝すると予想している。

1区新迫（世羅高2年） 国体3位、全国高校駅伝1区6位と安定している。トップと10秒差程度で持ってくれば十分。

2区佐々木（磯松中3年） 調子が良く、順位を下げることなく引き継ぐ。

3区岡本（中国電力） 距離が短く、全日本実業団駅伝（4区13位）のようなことはないだろう。これまでの実績通り前へ前へしっかり走れば、上位をキープ。

4区吉田（世羅高1年） 積極的な走りで調子に乗れば、トップに並べるかも。

5区中島（世羅高2年） この1年で急成長した。確実にトップに出る予定。

6区梶山（坂中2年） 埼玉に抜かれても、差が10秒程度であれば大丈夫。

7区鎧坂（旭化成） 実力を普通に発揮すれば、3km地点まででトップに立ち、そのまま2時間19分前後のタイムで優勝のフィニッシュへ。

※例年、40人程度のエントリー変更があり、現時点（1月7日）での予想は本番とかなりのズレが生じる。過去の結果を見ると、実力通り走った選手は半分くらいにとどまっており、実力者が好走したチームが上位に顔を出している。

どんなドラマが待ち受けているか、当日を楽しみにしておいてもらいたい。

以上